

Assembly 東日本予選 乙 14 番テーブル

ジャッジ

江澤、(青山学院大学 4 年)、藤原(早稲田 4 年)

メンバー

住田(明治学院大学 3 年)

杉田(立教大学 3 年)

櫻田(青山学院大学 2 年)

平井(上智大学 3 年)

安藤(法政大学 2 年)

佐久間(明治大学 2 年)

総評の流れ

議論の流れ及びコメント

選定理由

議論の流れ及びコメント

あくまでも、この流れやコメントはジャッジ目線から見てそう判断したものや、ジャッジの個人的な考えであり、正解ではありません。納得できなければそれでも問題ありません。

議論の流れ

AD 立証まで

特筆すべきことはなし。それぞれがコンパリに使う質問などをしていた。サラディスといった感じ。

DA 決め

住田の DA に決まる。内容は脳死者が SM するというもの。SM の立証は住田は assume SM というワードを使っていた。パンツはこれにあまり突っ込むことなく、容認してしまっていたが、これが後にコンパリソンをする際に大きな混乱を招くことになってしまう

コンパリソン

杉田の AD>DA のロジックの検証が始まる。ADTG は治療できる可能性があるが、DA はない。治療できれば貢献ができるので AD>DA という内容であった。住田の質問や杉田の説明により、貢献は日本国民の幸せに対する貢献であることで、治療ができれば労働者の数が増えるから、それにより日本国民と会社に対する貢献が増すという内容であることが

判明。ここで住田が反論を出す。内容は労働者が増えても中には使えない人間もいるのだから労働者の数は貢献にはつながらないというもの。杉田はこれに対して能力は入社テストとかではかるから問題ないというダウトを提示。しかしロジックなどを用いて検証手順を杉田が示さなかったため、流れる。議論が平行線になったところで住田はアプローチを変え、貢献と **msb** がつながらなければ意味がないからそのリンケージを示せと杉田に迫る。それに対して貢献が増えれば労働者にとって幸せだという杉田。ここでまた住田はアプローチを変え、数に言及するならエビデンスを出すように要求。そこからまた先ほどの能力が低い社員の話になり、議論が言ったり来たりする。住田の最終的な主張は確かに労働力は増える可能性はあるけどエビがない限りクリアではないからプライオリティは立てられないというもの。ここで議論が平行線になりそうなところで杉田がまず、**AD > DA** を自分のロジックで立てて、それに対して貢献において逆のプライオリティがたったら、プライオリティ同士のコンパリでクリアかどうかで比べて **DA > AD** にしようという **S** を打つ。それに対して住田はとりあえず数の話はエビがないと無理だから検証をやめようという **S** を打つ。ここで櫻田がなぜクリアな数字がなくてもプライオリティがたつのかという質問をする。杉田はこれに対して全部にクリアなエビがいるなら何もプライオリティたないのではないかと答える。住田はこれに対し、**QL** は人によるから別にエビなくてもいいけど **QT** を含む数の話はエビがあると主張。ここで議論が平行線になったところで住田がどちらの **S** がいいか投票で決めようという **S** を打つ。杉田はロジカルじゃないとダウトを出すも、結局テーブルの空気に住田の **S** に乗る形となり、投票の結果でも住田が勝ち、検証をやめて違うロジックを検証することとなる。住田がここで **SM** のタームが **AD** は平均9か月だけど **DA** は1週間というロジックを出す。ここで杉田が **BD** には **will** がないという根本的なダウトを提示住田はこれに対して脳死になる前にドナーカードに書いてあるから **will** はあると主張。ここでも議論が平行線になったところで住田がとりあえず **a/I/1** の **SM** は認めて **SM** がクリアかどうかで **AD > DA** が立つということにしないかという **S** を打つ。ここでも議論は平行線となり、杉田がそれを言ったら **DA** は全部未来のことだからクリアかどうかで **AD > DA** が成り立ってしまうというダウトを出すも、検証手順を示さなかったため流れ、住田が質問をしようとしたところでディスカッションは終了した。

コメント

まず、今回の **DA** については **assume** を用いていた。これは **AW** を用いて **BD** の **SOH** を立証するためであったが、これについてはやはり異議を唱えるのであれば、**DA** 立証の前にすべきであったと個人的には考える。なぜなら、**DA** の **SOH** が立証できなければコンパリソンをする意味がなくなるからだ。今回のように最初の **TG** コンパリソンでは **SM** を用いなかったため問題は起きなかったが、**QL** が途中で出てきたときに問題が起き、結局 **DA** の立証に戻るような形になり混乱を招いてしまった。また、**BD** の **DA** 立証に **AW** を使いたいのであれば例えば **BD** として判定された人が実は **BD** 中に意識があつて **SM** していたとい

うようなエビデンスがある場合などは、ほぼ立証できるだろう。また、コンパリソンについて、数の話は明確な数字のエビがないとプライオリティが立たないというのはよくある反論であるが、個人的には論理的に数があがると言えればエビがなくても問題ないと考える。今回でいえば治療されてその人たちが働けば労働人口が増えるというのがそうである。ただ、杉田は今回異議を唱える際にロジックなどを用いて検証手順を示さなかったため、それがなんとなく流されてしまい、検証されずテーブルメンバーを十分説得できなかったのは残念である。そうした名がされたダウトが全てきちんと検証されていれば勝敗はどうなったかわからない。

コメントや流れについて質問などがあれば気軽に藤原(早稲田4)まで

LINE ID : takeshifujiwara0808

選定理由

1位 住田(明学3年)

住田の obj を中心に議論がされた場面が多く見られた為

特にコンパリにおいて、多角的な視点からオブジェクションをしていた点を高く評価しました。テーブルでオーソリを獲得していましたが、自分の意見や S を提示する際、提示する根拠をきちんと説明し、自分の考えを伝えていたところが一因として挙げられるのではないかと思います。ロプラが多く、チャートが纏まっていない印象を受けたのでチャートの書き方を見直すともっと浸透率も高くなり、良いのではないのでしょうか。多角的な視点はなかなかすぐには身に付かないので、沢山プレバをしてきた成果だと感じました。これからも頑張ってください。

また、杉田君にも共通して言える事ですが、アイディアプレゼンターは自分の話を主張するだけではなく、話を終わらせるまでが役割です。今回ふたりは S を打ったりアイディアを提示した後、自分の話に乗せようと主張が一方的になり、話が堂々巡りになってしまった場面が多々見られました。自分の意見を通す為は何が足りなかったのか、もっと良い折衷案は無かったのか、後輩のエデュケの為にも見直してみると良いと思います。また、住田君、杉田君以外の人達にも考える事をお勧めします。なぜならテーブルの中で意見が堂々巡りになった時は絶好の介入チャンスだからです。どうしたら良かったのか考えてみてください。

2位 杉田(立教3年)

多くのダウトを提示した為

オピメであった為

今回は ASQ において Q が少なく、obj もなかった事も理由かもしれませんが、オピメとして get AD を開始 30 分ほどで達成した事は高い評価に値します。また、自分の思いついたダウトや、反論を積極的にテーブルに投げかける姿勢を高く評価しました。ダウトをロジックに落とし、アーギュとしてテーブルに提示すると、論理的に話を進める事もでき、もっと良い義論ができたかもしれません。

また、住田君の所にも書いたように、オピメであるからには堂々巡りの話の終止符を打てるような S を打てたら良かったかなと思います。積極的に自分の意見をテーブルに提示する姿勢は議論において必要不可欠なものなので、杉田君のその姿勢を後輩にも伝えていってあげてください。

3 位 櫻田(青学 2 年)

テーブル内において C や Q を積極的にしていた為

テーブルがごちゃった時に、クリティカルな Q や C をしていた為評価しました。ただ、介入量が少なく、自分の理解の為の QC が多い印象を受けたので、そこを改善すればもっと議論に貢献できたかと思います。

ごちゃったとき時に介入しようとする姿勢、C の質や Q による論点抽出はとても上手だったのでこれからも頑張ってください。

4 位 平井(上智 3 年) 安藤(法市 2 年)

Q をした為

後に繋がらない話は浸透しにくいので、Q をする時はきちんと自分の意図を提示し、言ったことを達成するともっと議論に影響力を及ぼせると思います。Q でストラテを張るなどのチャレンジをしてみてもいいかもしれません。

引退や、次の大会までに沢山時間はあるので頑張ってください。

5 位 佐久間(明治 2 年)

介入が無かった為

1Q でも良いので介入してみましょう。とりあえずやってみることでできてくることもあります。

まだまだこれからがスタートなので頑張ってください。

青山学院大学 江澤桃子

質問があればラインでどうぞ！